

## 群馬における消費意識調査

群馬経済研究所 研究員 稲田純也

### 調査のポイント

県内消費者における、①今後1年間の収入と支出意欲、②商品購入時に重視していること、③今後1年間の商品・サービスへのお金のかけ方、④ネットショッピングの利用状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

また、附帯調査として「キャッシュレス決済の利用に関する調査」も実施した。

### 要約

○今後1年間における収入の見通しは、「減少」が「増加」を僅かに上回った。支出意欲の見通しは、「向上」が「低下」を上回った。支出意欲が向上するという理由としては、賃上げ等による収入増加の動きやコロナ禍の落ち着きが挙げられた。

○商品の購入時には、「価格の安さ」「品質・性能の良さ」を重視している。衣料品と自動車は「見た目」も重視されている。

○ネットショッピングは、「趣味娯楽用品」「衣料品」を購入する際に、よく利用されている。一方で、「医薬品」を購入する際には、あまり利用されていない。

○今後1年間において支出を増やすものは、コロナ禍で我慢していた「趣味」「旅行」であった。一方で、支出を減らすものは、衣・食といった身の回りの支出項目の「ファッション」「飲食料品」であった。なお、「外食」については、支出を増やす人と減らす人がほぼ同割合であった。

○附帯調査では、年代に関わらず、キャッシュレス決済の普及が進んでいる様子が見えかけた。

### 【アンケート調査概要】

調査方法：インターネットアンケート調査

調査期間：2024年1月下旬

調査対象：群馬県内に居住する20歳以上の男女

有効回答数：1,000

#### 【回答者概要】

		回答者数	年代				
			20代	30代	40代	50代	60歳以上
全体		1,000	202	205	205	187	201
構成比		100.0%	20.2%	20.5%	20.5%	18.7%	20.1%
性別	男性	480	96	97	101	94	92
	構成比	48.0%	9.6%	9.7%	10.1%	9.4%	9.2%
	女性	520	106	108	104	93	109
	構成比	52.0%	10.6%	10.8%	10.4%	9.3%	10.9%

※四捨五入の関係により、内訳と合計が一致しない場合がある（以降の図表も同様）。